

隔月刊「いいテク・ニュース」Vol. 194号【最新開催セミナーご案内！】

□ ■(株)技術情報センター ————— ■ □

「いいテク・ニュース」

～ Ecology & Energy & Engineering-Techno News ～

☆☆☆☆【4月開催セミナー・新規取扱書籍ご案内！！】☆☆☆☆

□ ■————— 2026.3.24 Vol.194 ■ □

(株)技術情報センターのメルマガをご覧くださいありがとうございます。

お彼岸が明けるといよいよ春爛漫、陽気が増して桜の花が一気に咲き始めます。

春の訪れは大きな喜びですが、共に学んだ学友との別れ、同じ職場で働いた方との

別れの季節でもあります。

この頃の季語に「鳥雲に入（い）る」、「鳥帰る」があります。

南方から渡ってくる燕（つばめ）など夏鳥たちとは反対に、秋から冬にかけて日本

へ渡ってきていた白鳥や雁（かり）、鴨、鶴など大形のものから、鶺鴒（つぐみ）や

鶺鴒（ひわ）、花鶺鴒（あとりに）など小鳥まで多くの冬鳥たちが北方の繁殖地に帰る季

節です。

整然と群れを組んで帰る大形の鳥たち、賑わしく大群をなして一気に帰ってゆく小

鳥たち。

これからの長旅と繁殖に備え、十分に体力をつけた鳥たちでしょう。

冬の間、慣れ親しんだ渡り鳥たちが飛び去っていく姿は、とどめることのできな

い時の流れや季節の移ろいと重なります。

麗らかに霞む空に飛ぶ鳥を、小さな点のようになって雲間に消えるまで見送る、し

みじみとした惜別の情を感じます。

少年の見遣（みや）るは少女烏雲に

中村草田男

鳥帰る神話の島を沖に置き

大串 章

(株)技術情報センター「いいテク・ニュース」第194号をお届けいたします。

今回も2026年4月開催20セミナーと新規取り扱い書籍情報2タイトルと

盛り沢山の内容になっています。

ご興味がおありのテーマを選んでご覧いただくとありがたく存じます。

□ ■ ————— ■ □  
i n d e x

□ ■ ————— ■ □

◇セミナー情報[2026年4月開催セミナー/20件]

2026年4月開催セミナー

<https://www.tic-co.com/seminar/seminar-2026-04.html>

◇おすすめセミナーPick Up

4月23日(木)開催

「水電解水素製造に関する要素技術／研究開発動向」セミナー

<https://www.tic-co.com/seminar/20260411.html>

◇主催セミナー アーカイブ一覧  
<https://www.tic-co.com/seminar/seminar-archive.html>

◇新規取り扱い書籍情報 (2タイトル)  
<https://www.tic-co.com/books.html>

◇セミナー及び書籍・調査資料Webサイトアクセス数ランキング  
<https://www.tic-co.com/access-lanking/al-index.html>

◇E-mail変更・不要について  
<https://www.tic-co.com/merumaga.html>

□ ■ ----- ■ □  
セミナー情報  
[2026年4月開催セミナー/20件]

□ ■ ----- ■ □

当社主催セミナーを、開催日順でご案内致します。  
詳細につきましては、各セミナータイトルの下にごございます  
URLにてご案内致しております。

■ 4月9日(木)-----

プラントモジュール工法の概要と留意点・実際

★会場★

★ライブ配信★

★アーカイブ★

<https://www.tic-co.com/seminar/20260404.html>

■ 4月10日(金)-----

バイオ炭と脱炭素ビジネスの最新動向・展望

～講師4名(森林研究・整備機構、PEO技術士事務所、  
TOWING、ヤンマーエネルギーシステム)ご登壇～

★個別 (各テーマ) 受講可能★

★会場★

★ライブ配信★

★アーカイブ★

<https://www.tic-co.com/seminar/20260416.html>

■4月10日(金)-----

－市場（容量・需給調整・同時・中長期取引）動向を含めた－  
2026年度ならびに今後の電力業界／ビジネスの展望  
～市村講師が考察する短・中長期の見通し～

★会場★

★ライブ配信★

★アーカイブ★

<https://www.tic-co.com/seminar/20260402.html>

■4月14日(火)-----

－電気器材を実際に触れて理解を深めるために  
受講定員を絞り「実機による演習」を豊富に交えた－  
現場で役立つ電気の基礎知識  
～専門外の方のための～

★会場★

<https://www.tic-co.com/seminar/20260401.html>

■4月15日(水)-----

CO2分離回収/DAC,メタネーション技術に関連した  
プロセスおよびコスト計算の基礎と実例

★会場★

★ライブ配信★

★アーカイブ★

<https://www.tic-co.com/seminar/20260413.html>

■4月15日(水)-----

データセンターを巡る電力系統/インフラの動向と展望  
～講師2名(東京電力パワーグリッド、シュナイダーエレクトリックジャパン)ご登壇～

★会場★

★ライブ配信★

★アーカイブ★

<https://www.tic-co.com/seminar/20260417.html>

■4月16日(木)-----

リチウム回収技術の最新動向

～講師3名(弘前大学、産業技術総合研究所、室町ケミカル)ご登壇～

★個別(各テーマ)受講可能★

★会場★

★ライブ配信★

★アーカイブ★

<https://www.tic-co.com/seminar/20260418.html>

■4月16日(木)-----

GHGプロトコル改定の最新動向と対応

～スコープ2ならびに1、3について～

★会場★

★ライブ配信★

★アーカイブ★

<https://www.tic-co.com/seminar/20260415.html>

■4月17日(金)-----

～創出者・購入者両方の視点を含めた～

カーボン・クレジットに関連するカーボンプライシング政策(GX-ETS等)の最新動向とその対応、及び、J-クレジットの最新動向とビジネス展開

★個別(各テーマ)受講可能★

★会場★

★ライブ配信★

★アーカイブ★

<https://www.tic-co.com/seminar/20260412.html>

■4月17日(金)-----

～講師3名(巴工業、東芝エネルギーシステムズ、馬淵工業所)ご登壇～

バイナリー/ORC発電システムの要素技術開発動向

～各種装置、実証、導入事例などを含めて～

- ★会場★
- ★ライブ配信★
- ★アーカイブ★

<https://www.tic-co.com/seminar/20260419.html>

■4月20日(月)-----

～耐食性を中心とした～  
ステンレス鋼の選び方・使い方とトラブル対策  
～受講者の事前ご質問に可能な限り対応～

- ★会場★
- ★ライブ配信★
- ★アーカイブ★

<https://www.tic-co.com/seminar/20260406.html>

■4月20日(月)-----

陸上養殖ビジネスにおけるコスト計算・採算性評価

- ★会場★
- ★ライブ配信★
- ★アーカイブ★

<https://www.tic-co.com/seminar/20260410.html>

■4月21日(火)-----

—機械設計・伝熱設計の専門である講師2名による—  
多管式を中心とした熱交換器の設計法  
～各種プラントの中で使用される熱交換器の設計のポイントについて詳説～

- ★会場★
- ★ライブ配信★

<https://www.tic-co.com/seminar/20260409.html>

■4月21日(火)-----

—電気自動車（EV）用車載蓄電池を中心とした—  
リチウムイオン電池等のリユース/リパーパス及び利活用と要素技術  
～講師4名(フォーアールエナジー、KRI、NEXTES、CONNEXX SYSTEMS)ご登壇～  
★個別（各テーマ）受講可能★

- ★会場★
- ★ライブ配信★
- ★アーカイブ★

<https://www.tic-co.com/seminar/20260408.html>

■4月22日(水)-----

～プラントエンジニアリングにおける～  
プロジェクトマネジメントの最近の動向とEPCコスト管理  
～昨年11月に発行されたPMBOK第8版の概要および変更点、  
更に一昨年9月に発行されたP2M改訂4版について解説～

- ★個別（各テーマ）受講可能★

- ★会場★
- ★ライブ配信★
- ★アーカイブ★

<https://www.tic-co.com/seminar/20260414.html>

■4月22日(水)-----

【講師4名：オンラインセミナー】

膜によるCO2分離回収と研究開発・要素技術動向

- ★個別（各テーマ）受講可能★

- ★ライブ配信★
- ★アーカイブ★

<https://www.tic-co.com/seminar/20260405.html>

■4月23日(木)-----

水電解水素製造に関する要素技術／研究開発動向

－講師5名【旭化成、日本特殊陶業、山梨大学、静岡大学、東京大学】ご登壇－

- ★個別（各テーマ）受講可能★

- ★会場★
- ★ライブ配信★
- ★アーカイブ★

<https://www.tic-co.com/seminar/20260411.html>

■4月23日(木)-----

系統用蓄電池事業における許認可の実務【3時間・拡充版】  
～基礎から体系的に解説／農地法・森林法を含む開発関連法令の整理～

- ★会場★
- ★ライブ配信★
- ★アーカイブ★

<https://www.tic-co.com/seminar/20260403.html>

■4月24日(金)-----

アンモニア利用に関する技術開発／運用など  
取組みとプラント設備のスリム化

－講師3名(JERA、日揮、IHI)ご登壇－

- ★個別（各テーマ）受講可能★
- ★会場★
- ★ライブ配信★
- ★アーカイブ★（I・IIのみ可）

<https://www.tic-co.com/seminar/20260420.html>

■4月24日(金)-----

排水処理（水処理、水回収、有価物回収）における  
基本技術とコスト削減の進め方及び技術動向  
～水処理プロセスの最適化、サステナビリティへの取組みなどを含めて～

- ★会場★
- ★ライブ配信★

<https://www.tic-co.com/seminar/20260407.html>

各月毎のご案内を、下記URLにご用意致しておりますので是非一度  
ご覧頂けましたら幸いに存じます。

■ 受講申し込み受付中セミナー一覧

● 2026年4月開催セミナー

<https://www.tic-co.com/seminar/seminar-2026-04.html>

● 2026年6月開催セミナー

<https://www.tic-co.com/seminar/seminar-2026-06.html>

- 2026年4月開催アーカイブセミナー  
<https://www.tic-co.com/seminar/seminar-2026-04archive.html>
- 2026年2月開催アーカイブセミナー  
<https://www.tic-co.com/seminar/seminar-2026-02archive.html>
- 2025年12月開催アーカイブセミナー  
<https://www.tic-co.com/seminar/seminar-12archive.html>
- 2025年10月開催アーカイブセミナー  
<https://www.tic-co.com/seminar/seminar-10archive.html>
- 2025年8月開催アーカイブセミナー  
<https://www.tic-co.com/seminar/seminar-08archive.html>
- 2025年6月開催アーカイブセミナー  
<https://www.tic-co.com/seminar/seminar-06archive.html>

※開催決定・開催終了分より、随時追加・削除されていきますので、最新の情報は上記URLをご参照下さいませ。

■ ————— ■

おすすめセミナーPick Up

■ ————— ■

今回のPick Upセミナーは

「水電解水素製造に関する要素技術／研究開発動向」セミナー

です。

本セミナーでは、各種水電解法【アルカリ水電解、高温水蒸気電解、アニオン交換膜、海水電解、水電解：アカデミア最先端研究技術】の要素技術と研究開発動向、今後の展望などについて、斯界の最前線でご活躍中の講師陣から詳説頂きます。

- 講 師 旭化成株式会社  
グリーンソリューションプロジェクト 水電解技術開発部  
製品開発グループ長  
リードエキスパート（電気化学）  
内野陽介 氏
- 講 師 日本特殊陶業株式会社  
エネルギー事業本部 エネルギー変換事業開発部 参事  
柴田昌宏 氏
- 講 師 国立大学法人山梨大学 水素・燃料電池ナノ材料研究センター 教授  
内田 誠 氏
- 講 師 国立大学法人静岡大学大学院 総合科学技術研究科工学専攻 教授  
須田聖一 氏
- 講 師 国立大学法人東京大学 工学系研究科化学システム工学専攻 教授  
高鍋和広 氏

●日 時 2026年 4月 23日（木） 10:00～16:50

●会 場 東京・新お茶の水・連合会館（旧 総評会館）・会議室

※本セミナーは、会場での受講またはライブ配信（Zoom）での受講も可能です。  
※セミナー資料（テキスト）は開催日の直前にデータ（pdf）でお送り致しますが、  
配布できない資料（当日・投影のみ公開など）もございますこと、ご了承下さいませ。

●受講料 ◆1日受講 55,000円【1名につき】

（同時複数人数お申込みの場合1名につき44,000円）

（午前と午後で受講者が異なる場合でも可）

◆午前（プログラムI・II）受講 38,500円【1名につき】

◆午後（プログラムIII・IV・V）受講 39,600円【1名につき】

※上記全て、テキスト代、消費税を含む

## ●セミナープログラム●

10:00-11:00

## I. 旭化成における水電解の技術開発と展望

旭化成では、再生可能エネルギーによるグリーン水素製造用アルカリ水電解システム「Aqualyzer TM」の開発を進めている。本発表では、旭化成の水電解に関する大型実証を含めた「Aqualyze TM」の開発の状況、将来展望について紹介する。

1. 会社概要
2. 水電解技術について
3. グリーン水素分野の世界の動向
4. アルカリ水電解システムの開発
5. 実証実績
6. 今後の展望
7. 質疑応答・名刺交

(内野 氏)

11:15-12:15

## II. 固体酸化物形電解セル (SOEC) の開発

水素の製造は水を電気分解する方法が用いられており、その水電解装置の技術開発は世界で加速している。特に海外では欧州を中心として大規模な水素製造を行うため、アルカリ形や固体高分子形の社会実装が進められているが、一方で、固体酸化物形は高温の水を電気分解することから他の電解技術より変換効率が高いことが知られており、社会実装を進めるべく、開発が待たれている状況である。日本特殊陶業は、セラミック技術に関し、材料開発から成形加工、焼成までの製品化技術に加え、製品の使われ方の視点からとらえた評価技術について長年研究を重ねており、これらの技術の活用として固体酸化物形電解セル (SOEC) の開発を進めており、その取り組み内容について紹介する。

1. 会社紹介
2. SOECについて
3. 国内外におけるSOEC開発動向
4. 当社におけるSOEC開発の取り組み
5. 質疑応答・名刺交換

(柴田 氏)

13:20-14:20

### III. アニオン交換膜水電解（AEMWE）の研究開発動向

アニオン交換膜水電解（AEMWE）は、系内がアルカリ性であるため非貴金属触媒の使用が可能であり、プロトン交換膜水電解（PEMWE）と同様に膜電極接合体（MEA）構造を有するため高電流密度化のポテンシャルを有しており、触媒やセパレータなどの非貴金属化による低コスト化と高電流密度化の両立が期待されている。本セミナーでは、山梨大学で独自開発した触媒とアニオン電解質材料を用いたAEMWEセルを種々の実用を模擬した条件で評価した性能・耐久性結果と、将来の方向性と今後の展開について紹介する。

1. 水素を取り巻く国内外情勢と水素政策の現状
2. 水電解装置：各タイプの特長と課題
3. 研究背景 水電解技術
4. 山梨大学で独自開発した触媒とアニオン電解質材料を用いたAEMWEセルの性能と耐久性を紹介
5. AEMWE将来の方向性と今後の展開
6. 質疑応答・名刺交換

（内田 氏）

14:35-15:35

### IV. 海水電解によるCO<sub>2</sub>の濃縮及び固定

海洋中での電気分解（海水電解）によってCO<sub>2</sub>を濃縮回収または固定化するDirect Ocean Capture(DOC)技術について、海外での取り組みを含めて紹介する。海洋中では重炭酸イオンが比較的高濃度で存在するため、その海水電解によって、CO<sub>2</sub>ガスを高濃度で回収したりCO<sub>2</sub>をCaCO<sub>3</sub>として固定化したりすることができる。しかし、過飽和溶液である海水は、NaCl水溶液と比較すると、溶存CO<sub>2</sub>量だけでなく、電解の際の分極や、海水による緩衝効果など、検討すべき課題がある。我々の取り組みを通じて顕在化したこれらの課題や、その解決に向けた取り組みについても紹介したい。

1. 背景
2. 塩水と海水の違い

3. DOCによるCO<sub>2</sub>ガス高濃度回収技術とその課題
4. DOCによるCaCO<sub>3</sub>の固定化技術とその課題
5. 海洋CDR (Carbon Dioxide Removal) としてのDOCの可能性と課題
6. 質疑応答・名刺交換

(須田 氏)

15:50-16:50

#### V. 水電解：アカデミア最先端研究技術について

本発表では、JST GteXプログラムの水電解領域 GteX WInG の取り組みを背景に、水電解を実環境下の反応場として理解するためのアカデミア最先端研究技術を俯瞰する。オペランド計測、ならびに計算・データ科学の融合により、性能と耐久性を同時に捉える研究アプローチを紹介する。これらの知見は、社会実装を見据えた設計限界の原理的理解を可能にし、次世代の高効率かつ持続可能な水電解技術の学術基盤を形成する。

1. 世界の動向
2. GteX WInGチーム紹介
3. GteX WInGこれまでの成果
4. 当研究室による海水電解のアプローチと成果
5. まとめ
6. 質疑応答・名刺交換

(高鍋 氏)

－名刺交換など－

セミナー終了後、ご希望の方はお残りいただき、講師とご受講者間での名刺交換ならびに講師へ個別質問をお受けいたします。

お申し込み・お問い合わせ等は下記URLにてお願い致します。

<https://www.tic-co.com/seminar/20260411.html>

□ ■ ————— ■ □  
主催セミナー アーカイブ一覧

□ ■ ————— ■ □

過去に開催致しましたセミナーの当日の様子を録画・編集した動画を配信致しております。

是非一度ご覧下さいませ。

こちらから↓

<https://www.tic-co.com/seminar/seminar-archive.html>

□ ■ ————— ■ □  
新規取り扱い書籍（2タイトル）

□ ■ ————— ■ □

新たにお取り扱い致します書籍を、分野別にご案内致します。  
詳細につきましては、各書籍タイトルの下にございますURLにてご案内致しております。

---- 《 界面化学関連 》 -----

架橋剤の使用法 基礎と実践技術

<https://www.tic-co.com/books/26stm097.html>

---- 《 医薬品・先端医療関係 》 -----

医療データ(RWD)/RWE利活用時の100の落とし穴

= 落とし穴にはまらないための処方 =

(承認申請・MA・マーケ・PV領域・DB研究での活用スキル)

<https://www.tic-co.com/books/26stp184.html>

□ ■ ————— ■ □  
セミナー及び書籍・調査資料Webサイトアクセス数ランキング

□ ■ ————— ■ □

2026年1月1日から2月28日までの2ヶ月間のセミナー及び書籍のWebページアクセス数ランキングを掲載します。

：：：：：：： ★ セミナー アクセスランキング ★ ：：：：：：：

- 第1位 「SAF（持続可能な航空燃料）の製造技術開発動向と取組み・展望」  
（2026年2月26日（木）開催）  
<https://www.tic-co.com/seminar/20260216.html> アクセス数 1417  
件
- 第2位 「バイオマス発電設備の事故防止のための有効対策」  
（2026年2月10日（火）開催）  
<https://www.tic-co.com/seminar/20260212.html> アクセス数 1049  
件
- 第3位 「圧力容器の強度評価と設計技術・規格基準」  
（2026年2月18日（水）開催）  
<https://www.tic-co.com/seminar/20260202.html> アクセス数 924  
件

★アクセス数やその他の順位など、ランキング詳細はこちら↓  
<https://www.tic-co.com/access-lanking/al202603S.html>

今回は第1位に  
SAF（持続可能な航空燃料）の製造技術開発動向と取組み・展望  
～講師5名【IHI、東芝エネルギーシステムズ、東京農工大学、  
日本微細藻類技術協会、大阪公立大学】ご登壇～  
がランクイン。

本セミナーでは、SAF製造に関する企業、研究機関の技術開発の動向と取組み・展望などについて、斯界の最前線でご活躍中の講師陣に詳説頂いた内容が多くの関心を集めたのでしよう。

関連セミナーとして

2026年4月10日(金)に

バイオ炭と脱炭素ビジネスの最新動向・展望

～講師4名(森林研究・整備機構、PEO技術士事務所、

TOWING、ヤンマーエネルギーシステム)ご登壇～

を開催します。

詳しい内容はこちらをご覧ください。→

<https://www.tic-co.com/seminar/20260416.html>

ならびに、

2026年4月15日(水)に

CO2分離回収/DAC,メタネーション技術に関連した

プロセスおよびコスト計算の基礎と実例

を開催します。

詳しい内容はこちらをご覧ください。→

<https://www.tic-co.com/seminar/20260413.html>

ならびに、

2026年4月16日(木)に

GHGプロトコル改定の最新動向と対応

～スコープ2ならびに1、3について～

を開催します。

詳しい内容はこちらをご覧ください。→

<https://www.tic-co.com/seminar/20260415.html>

ならびに、

2026年4月17日(金)に

～創出者・購入者両方の視点を含めた～

カーボン・クレジットに関連するカーボンプライシング政策（GX-ETS等）の

最新動向とその対応、及び、J-クレジットの最新動向とビジネス展開

を開催します。

詳しい内容はこちらをご覧ください。→

<https://www.tic-co.com/seminar/20260412.html>

ならびに、

2026年4月22日(水)に

【講師4名：オンラインセミナー】

膜によるCO2分離回収と研究開発・要素技術動向

を開催します。

詳しい内容はこちらをご覧ください。→

<https://www.tic-co.com/seminar/20260405.html>

ならびに、

2026年4月23日(木)に

水電解水素製造に関する要素技術／研究開発動向

－講師5名【旭化成、日本特殊陶業、山梨大学、静岡大学、東京大学】ご登壇－  
を開催します。

詳しい内容はこちらをご覧ください。→

<https://www.tic-co.com/seminar/20260411.html>

この集計データが、皆様の業務に少しでもお役に立てば幸いです。

：：：：：：：☆ 書籍及び調査資料アクセスランキング ☆：：：：：：：：

第1位 『日米のデータセンタービジネスと技術の最新動向 2025』

<https://www.tic-co.com/books/2025ce03.html>

アクセス数 656

件

第2位 『XR産業応用』

<https://www.tic-co.com/books/25stm096.html>

アクセス数 319

件

第3位 『ICH Q2(R2),Q14ガイドラインをふまえた

分析法バリデーション実施/分析法開発とCTD記載』

<https://www.tic-co.com/books/25stp180.html>

アクセス数 308

件

★アクセス数やその他の順位など、ランキング詳細はこちら↓

<https://www.tic-co.com/access-lanking/al202603B.html>

前回に続き今回も「日米のデータセンタービジネスと技術の最新動向 2025」が書籍・調査資料アクセスランキングトップに。

電子情報技術産業協会（JEITA）によると日本においてデータセンターを通じて提供されるサービスの市場規模は、2030年に5兆6500億円となり、2025年の4兆3453億円から、年平均5.4%増で成長すると予測しています。

また、2030年におけるデータセンターサービス世界市場は1兆7200億ドルとなり、2025年に比べて2倍超の規模に成長すると予測。

また、サーバーや半導体、電子部品などのデータセンター関連製品市場は、2030年に1兆6907億ドルになると予測。2025年比で約2.5倍になります。

日本市場よりも、世界市場の成長率のほうが高いとの予測が出ていて、そのような背景から日米のデータセンタービジネスと技術の最新動向をまとめた内容が関心を集めてのランキングでしょう。

関連セミナーとして

2026年4月15日(水)に

データセンターを巡る電力系統/インフラの動向と展望

～講師2名(東京電力パワーグリッド、シュナイダーエレクトリックジャパン)ご登壇～を開催します。

詳しい内容はこちらをご覧ください。→

<https://www.tic-co.com/seminar/20260417.html>

ならびに、

2026年4月23日(木)に

系統用蓄電池事業における許認可の実務【3時間・拡充版】

～基礎から体系的に解説/農地法・森林法を含む開発関連法令の整理～を開催します。

詳しい内容はこちらをご覧ください。→

<https://www.tic-co.com/seminar/20260403.html>

ならびに、

2026年4月10日(金)に

－市場（容量・需給調整・同時・中長期取引）動向を含めた－

2026年度ならびに今後の電力業界/ビジネスの展望

～市村講師が考察する短・中長期の見通し～

を開催します。

詳しい内容はこちらをご覧ください。→

<https://www.tic-co.com/seminar/20260402.html>

この集計データが、皆様の業務に少しでもお役に立てば幸いです。

□ ■ ————— ■ □  
E-mail変更・不要について  
□ ■ ————— ■ □

E-mailアドレスが変更になった場合は、件名に「アドレス変更」とご記入頂き、本文には、

- ★ 旧E-mailアドレス
- ★ 新E-mailアドレス

をお書き添え頂きました上、このメールにご返信下さいますようお願い申し上げます。

今後このご案内メールが不要でございましたら、件名に「不要」とご記入頂き、本文には、

- ★ E-mailアドレス

をお書き添え頂きました上、このメールにご返信下さいますようお願い申し上げます。

※下記URLでも承っております。

<https://www.tic-co.com/merumaga.html>

※このメールの返信にてお問い合わせをされますと、処理の都合上、ご回答までに一週間以上頂く場合がございます。

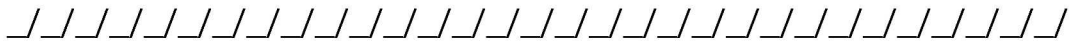
お問い合わせは [info@tic-co.com](mailto:info@tic-co.com) までお願い致します。

□ ■ ————— ■ □

最後までお読みいただきありがとうございました。

(株)技術情報センター メルマガ担当 白井芳雄

本メールマガジンのご感想や本メールマガジンへのご意見・ご要望等 [melmaga@tic-co.com](mailto:melmaga@tic-co.com) まで、どしどしお寄せ下さいませ。



『 - その先の、深い情報へ。 - 』

(株)技術情報センター

〒530-0038 大阪市北区紅梅町2番18号 南森町共同ビル3F

[T E L] 06-6358-0141

[F A X] 06-6358-0134

[U R L] <https://www.tic-co.com/>

[E-mail] [info@tic-co.com](mailto:info@tic-co.com)